

陳 情 書

1. 陳情事項

人事院勧告準拠に基づく2019年度（令和元年度）の益田市職員給与の改正案を不同意とされたい。

2. 陳情要旨

以下「陳情理由」で述べるように、現在の益田市財政は非常に厳しい状況であることと、「開パイ」の負担金回収不能の発生等による市民へ損害を与えたことを考慮して2019年度（令和元年度）は、給与の改正を見送り、市民の行政への信頼を回復すると共に、市民の理解を得ることが必要と思う。

3. 陳情理由

益田市の財政状況は、広報ますだ11月号の～平成30年度決算の状況～でも分かるように決して良いものとは思えません。実質収支は4億円余りの黒字決算と書かれており、一見すると良い財政運営に見えます。しかし、この黒字が何の要因でなったのかが問題です。市民税等の税収増であったり、事業の改善等による歳出削減であれば喜ばしいことではありますが、計画した事業を完全実施しなくて、予算が余ったのであれば、黒字と解釈するのはどうかと思います。年度の未使用額とすべきではないでしょうか。何故なら39億円余りの借金返済という支出をし、一方で25億円もの借金をして事業している。このような状況を見ると市民感覚として、益田市の財政状況は決して良くなく、市民からの要望も金が無いからと受け入れて貰えないという理由も理解できます。

又、今年度は「開パイ」の負担金で1億円近い回収不能金が発生し、市民に多大な損害を与えた事案もありました。しかし、その責任は市長を含め一部の幹部の減給に止まりました。市民からは市役所全体の処分がなされないのは理解できないとの声も聞かれます。よって、1億円近い回収不能金を発生させた市役所全体の責任を何らかの形で市民に表すためにも今年度の人事院勧告に準拠する職員の給与改定は見送るべきだと思います。

以上

令和元年11月25日
益田市安富町2253-3
益田市を良くする市民の会
会長 田原 修